

予算常任委員会報告

6月19日 開催

委員長 井上 加奈子

予算常任委員会に付託された「令和7年度能勢町一般会計補正予算(第1号)」について、委員会を開催し予算内容を審議しました。討論はなく、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

主な質疑応答は、次のとおりです。

ガバメントクラウド※1への移行

問 ガバメントクラウドへの移行に係るシステム更新費の内容と、標準化について問う。

答 国の補助対象外のシステム更新として5つ（内部情報、農家台帳、コンビニ交付等）のサーバーのリプレイス※2をする。
国の方針では標準化にあたりカスタマイズを行わないよう指示されており、システム業者と調整を進めている。

※1…政府共通のクラウドサービス

※2…コンピュータ機器等を新しいものにする

し尿処理施設整備工事の増額

問 し尿処理施設整備工事について、今回の増額要因を問う。

答 昨年度の単価を基に算出した予算に対し、今年度の新単価で資材・人件費などが大幅に上昇している。スライド条項（物価変動による契約変更規定）に基づき、差額分を増額するものである。

正規職員と会計年度任用職員の現状

問 正規職員の確保状況について問う。

答 定員適正化計画において定員は113名とされているが、実人数は109名。不足を会計年度任用職員で補っている。採用は応募数が少なく、特に技術職の確保が難しい。
今後も途中採用を含めて人員確保に努める。

消防団員の確保・退職報償金

問 消防団員の退職報償金、団員の確保等について問う。

答 令和6年度末で退団した20名と令和7年度の途中退団2名分を見込んだ予算である。令和7年度に21名が入団し、団員数は前年と同水準の408名を維持している。
今後は団員確保が厳しくなると思われるため、機能別消防団への参加の周知を考えている。

带状疱疹ワクチン接種の助成対象

問 带状疱疹ワクチンの助成について、対象年齢を問う。

答 対象者は65歳。70歳から5歳刻みで100歳までは救済措置とされており、それ以外の年齢層については助成の対象外である。

令和7年 能勢町議会5月会議報告

5月12日開催

5月会議には、報告2件、人事1件、議会議案1件の合計4件が提出され、下記のとおり決定しました。

◇専決処分の報告について「能勢町税条例の一部を改正する条例」

◇専決処分の報告について「令和6年度能勢町一般会計補正予算(第8号)」

◇監査委員の選任につき同意を求めることについて

監査委員 大西 則宏 氏

◇広報特別委員会の設置について